

カテゴリー 調査研究・人材育成 活動名称 学校シーニックバイウェイ

ルート名称 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

①活動概要

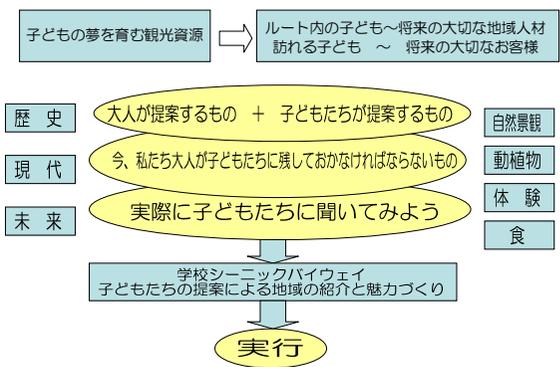
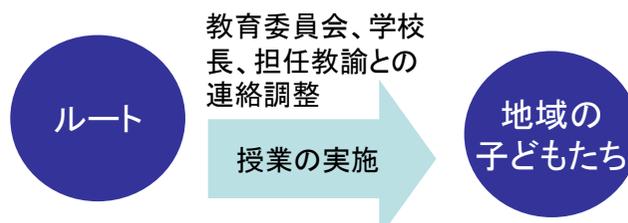
ルートの活動を通じ、地域の子供たちに、地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、平成22年にスタートした活動。

小学校へルートのメンバーが出向き、子供たちにシーニックバイウェイの想いとその活動を伝えるとともに、子供たちに地域のおすすめ情報を話し合ってもらう等の授業を実施。

おすすめ情報をまとめた『たんけん夢マップ』を作成した。
また、それらのおすすめ情報をもとに、札幌圏の親子を対象としたモニターツアーを実施した。

○学校SBWの定義(ルート内での定義)
「ルートのメンバーが学校授業等の中で、子ども達へSBWの思想を伝えながら、おもてなしの心を養うための諸活動」

②活動の体制



授業の様子

③苦労した点や工夫した点

学校の授業は、通常、年間の授業計画ため、学校シーニックバイウェイの授業枠を取ってもらう段取りに時間を要した。

子供が相手ということで、言葉の表現や漢字など、12歳で理解できるような表現を心がけた。



たんけん夢マップ

④活動の効果

授業により、子供たちに自分たちの地域の良さや魅力を認識し、訪れる人を思う気持ちを育む大きなきっかけとなったと考えられる。

また、ツアーの実施により、札幌圏の子供たちにも南十勝の魅力を知ってもらうことができた。

⑤今後の活動予定等

現在は、忠類小学校のみで授業を実施しているが、今後はルート全体へ学校シーニックバイウェイを広げていきたい。



モニターツアーの様子

様式2 (★指定・候補ルート共通)

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2011

ルート名	十勝シーニックバイウエイ 南十勝夢街道
活動の名称	学校シーニックバイウエイ
活動期間	平成22年度～23年度
評価の視点 ※相当すると思 われるものに○ (複数選択可)	①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、 ③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、 ⑤人材育成の充実 ⑥その他シーニックバイウエイ北海道の推進への寄与
<p>1. アピールポイント</p> <p>◆未来へ繋がる夢を育む</p> <p>当ルート内には、太古のロマン、人々の夢と開拓の大地、今尚人々を魅了する手付かずの自然など、子供たちの夢を大きく育む豊かな可能性があることから、この魅力を最大限に生かし、未来の子供たちへ残すことを考えた地域づくりを行っている。ルートの活動を通じ、地域の子供たちに、地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、平成22年に学校シーニックバイウエイをスタートさせた。</p> <p>◆学校シーニックバイウエイの活動</p> <p>○学校SBWの定義(ルート内での定義)</p> <p>「ルートのメンバーが学校授業等の中で、子ども達へSBWの思想を伝えながら、おもてなしの心を養うための諸活動」</p> <p>小学校へルートのメンバーが出向き、子供たちにシーニックバイウエイの想いとその活動を伝えるとともに、子供たちに地域のおすすめ情報を話し合ってもらおう等の授業を実施し、シーニックバイウエイの活動を知ってもらい、また地域の魅力を発見してもらおう。現在は、幕別町立忠類小学校のみ実施しており、他町村は地域の魅力に関するアンケートのみ実施しているが、今後は他町村にも広げていきたい。</p> <p>◆たんけん夢マップの作成</p> <p>子供たちの意見をとりまとめ、子供目線のマップ“たんけん夢マップ”を作成している。ルートの四季の魅力を生かすため、季節ごとのマップを作成予定であり、現在完成している冬バージョンは、“凍ったタオロでチャンバラ”など子供らしい楽しみ方を載せている。</p> <p>◆こどもたちおススメツアーの実施</p> <p>授業とアンケートの結果を元に、札幌圏の親子を対象とした子どもたちおススメの場所を巡るモデルツアーを実施した。ホテルでは地域の子供たちのロビーコンサートも開催された。ツアーでは、参加者から高い評価をいただき、子供たちからも“楽しかった”との声が多く聞かれた。南十勝の魅力をアピールでき、大変有意義なツアーとなったことから、今後も継続したいと考えている。</p>	
<p>2. 創意工夫、苦労した点</p> <p>教育委員会、学校長、担任教諭との連絡調整が必要であるとともに、学校の授業は通常、年間の授業計画ため、学校シーニックバイウエイの授業枠を取ってもらう段取りに時間を要した。</p> <p>子供が相手ということで、言葉の表現や漢字など、12歳で理解できるような表現を心がけた。</p>	